

最近の雇用情勢について

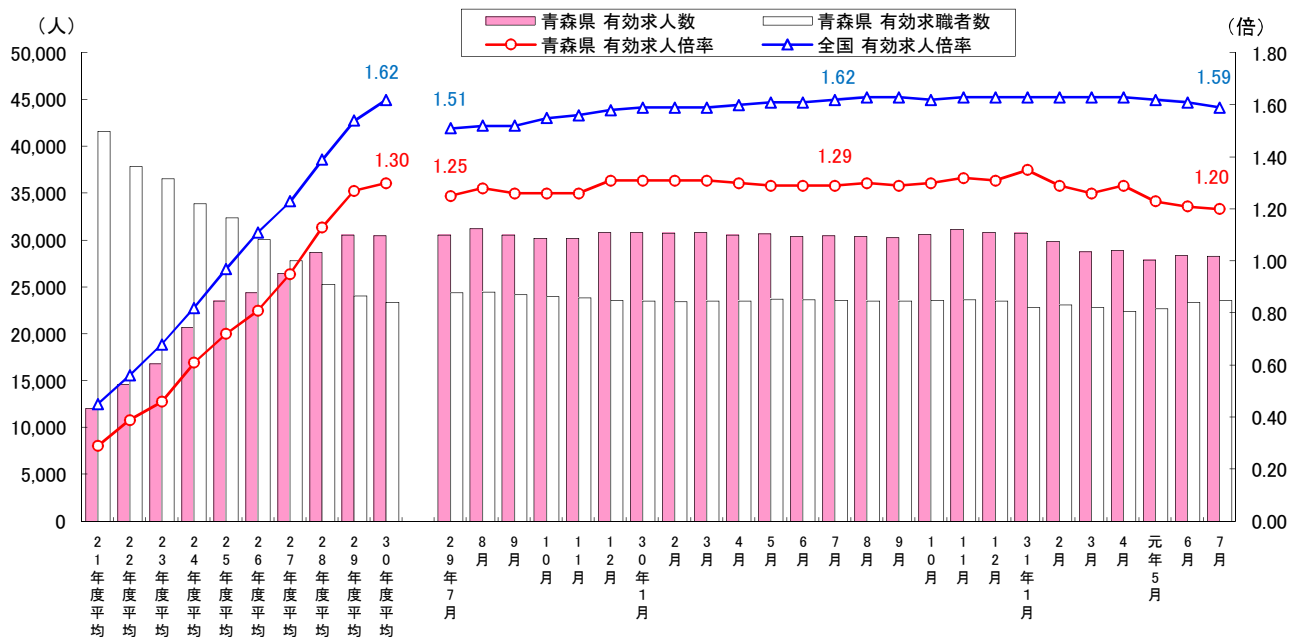
(令和元年7月)

青森労働局

I 受理地別求人倍率の推移(季節調整値)・・・年度平均は原数値

7月の一般職業紹介状況をみると、有効求人数（季節調整値）は前月に比べ0.1%減少し28,326人、有効求職者数（同）は0.9%増加の23,557人で、有効求人倍率（同）は1.20倍となり、前月を0.01ポイント下回った。
 就業地別の有効求人倍率（季節調整値）は1.31倍と前月より0.01ポイント下回り、受理地別の倍率を0.11ポイント上回った。

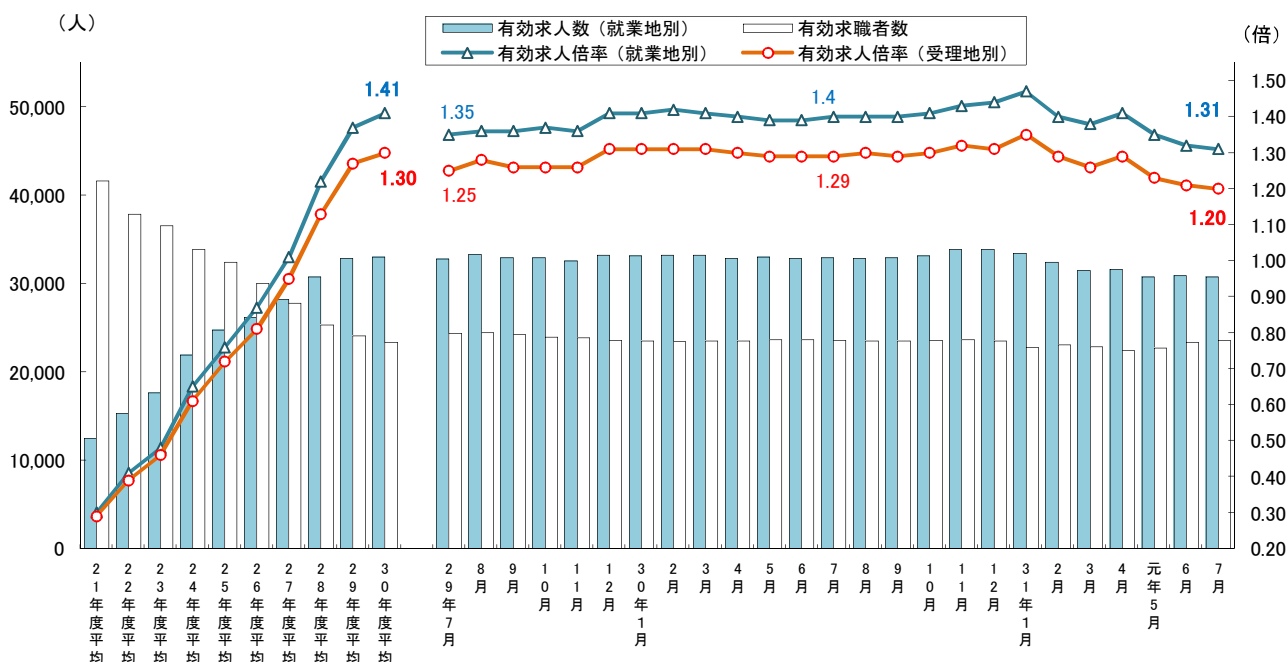
受理地別有効求人倍率の推移（全数・季節調整値）



※ 県内のハローワークで受理した求人数から求人倍率を算定。

【参考指標】

就業地別有効求人倍率の推移（全数・季節調整値）



全国のハローワークで受理した求人、就業地が青森県内となっている求人数から求人倍率を算定。
 季節求人については、受理したハローワーク管内を就業地としてみなしている。
 就業地として複数の市町村が挙げられている場合は、求人数を該当の市町村に割り当てることにより集計。

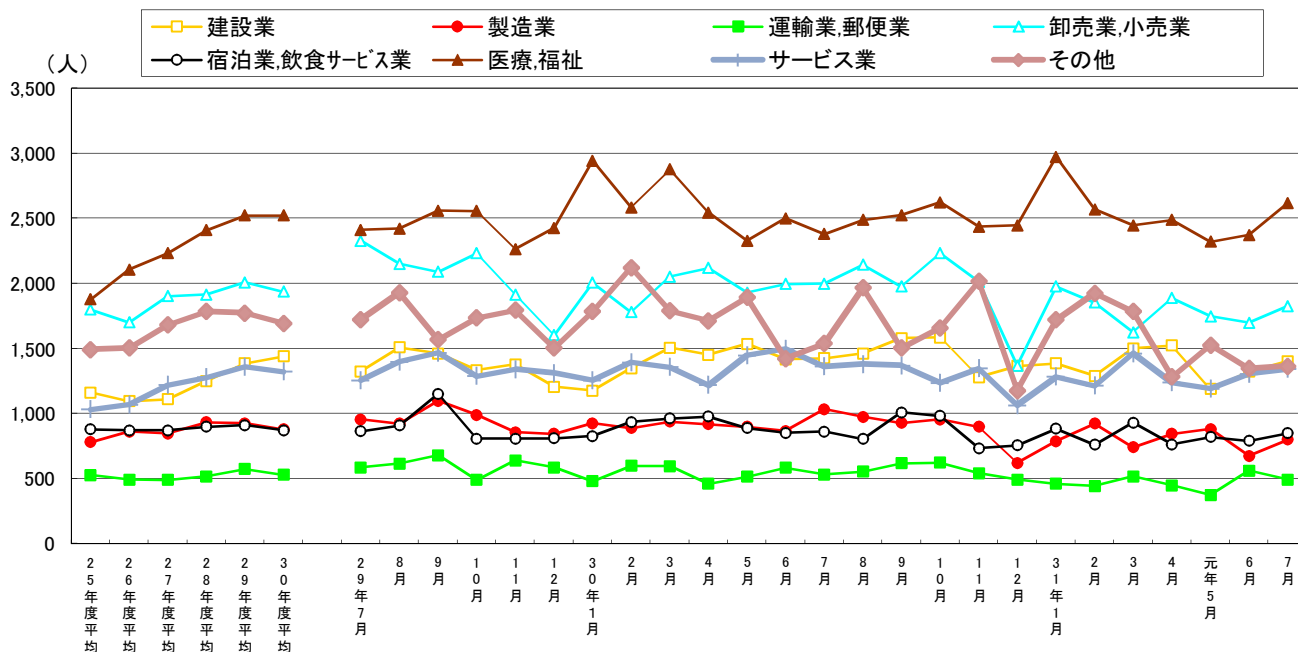
(注) 季節調整法はセンサス局法Ⅱ(X-12ARIMA)による。なお、平成30年12月以前の数値は新季節指数により改訂されている。

II 新規求人の状況(学卒を除きパートタイムを含む)

7月の新規求人数(原数値)は前年同月比4.0%(441人)減少の10,693人。

主な産業別で前年同月と比較すると医療、福祉等で増加し、建設業、製造業、運輸業、郵便業、卸売業、小売業、小売業、宿泊業、飲食サービス業、サービス業等で減少した。

製造業では、木材・木製品製造業(家具を除く)家具・装備品製造業、鉄鋼業、非鉄金属製造業、業務用機械器具製造業で増加し、食料品製造業、飲料・たばこ・飼料製造業、繊維工業、パルプ・紙・紙加工品製造業、印刷・同関連業、窯業・土石製造業、金属製品製造業、はん用・生産用機械器具製造業、電子部品・デバイス・電子回路製造業、電気機械器具製造業、情報通信機械器具製造業、輸送用機械器具製造業等で減少した。



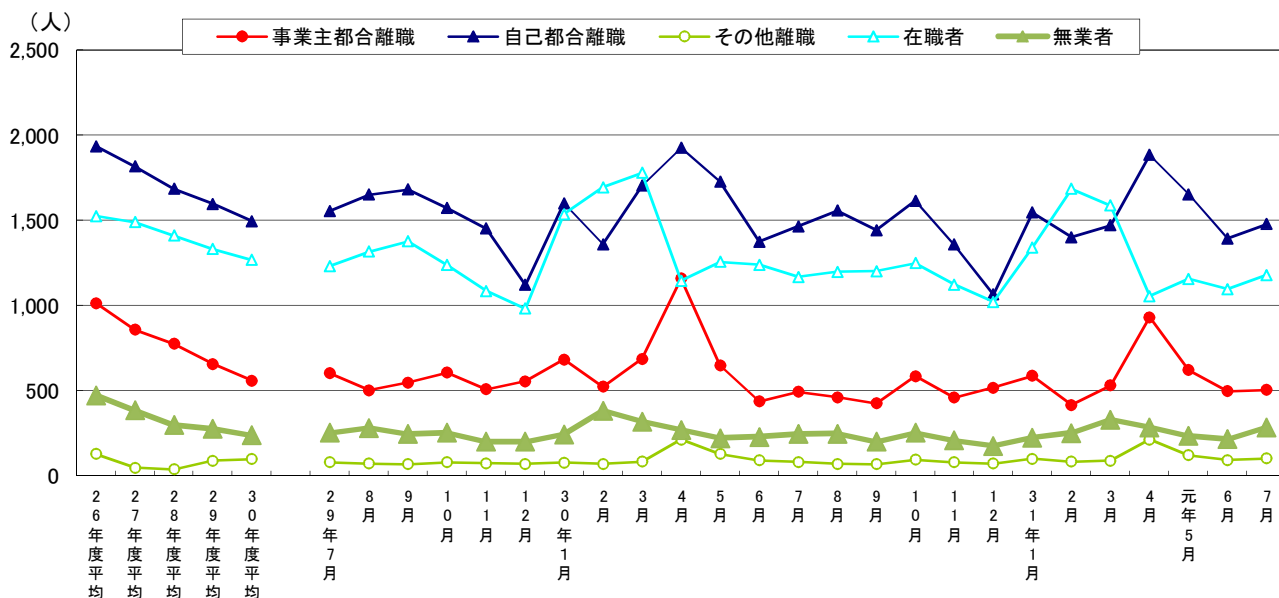
平成26年4月内容分より、平成25年10月改定の「新産業分類」での集計となっています。
 『その他』には、「農林漁業」「鉱業」「電気・ガス・熱供給・水道業」「情報通信業」「金融業,保険業」「不動産,物品賃貸業」「学術研究,専門・技術サービス業」「生活関連サービス業,娯楽業」「教育,学習支援業」「複合サービス事業」「公務・その他」を含みます。

III 新規求職の状況(パートを除く常用)

7月の新規求職者数(原数値)は、前年同月比2.7%(95人)増加の3,551人。

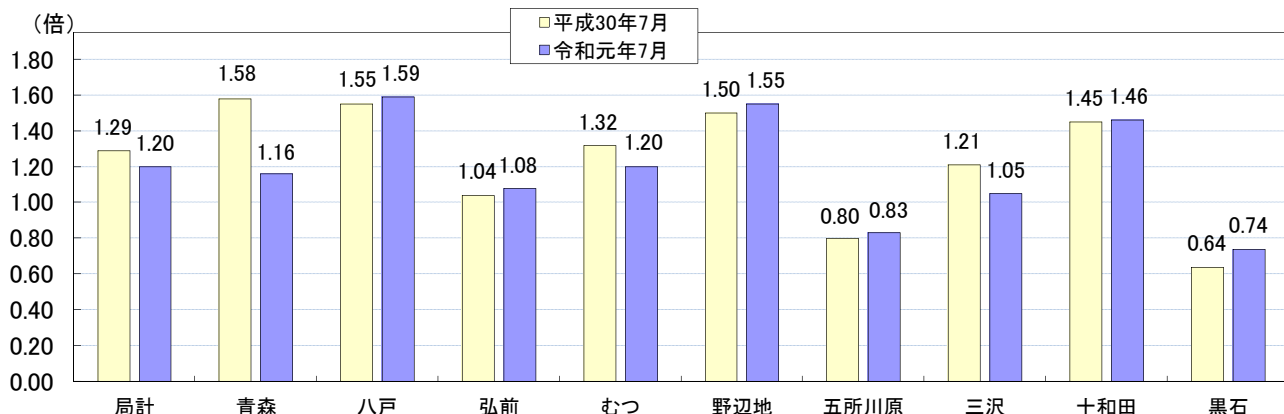
求職者を態様別に前年同月と比較すると、在職者は0.9%(11人)増加、無業者は15.9%(39人)増加、離職者は2.2%(45人)増加し2,086人となった。

離職理由でみると、事業主都合は同2.4%(12人)増加、自己都合は同0.9%(13人)の増加となった。



IV 安定所別求人倍率の状況(学卒を除きパートタイムを含む全数・・・原数値)

7月の局計の有効求人倍率(原数値)は1.20倍となり、前年同月より0.09ポイント低下した。各安定所別の有効求人倍率は次のとおり。



R1.7	局計	青森	八戸	弘前	むつ	野辺地	五所川原	三沢	十和田	黒石
有効求職者数	23,413	5,590	5,127	4,986	1,075	713	2,228	1,226	1,075	1,393
有効求人数	28,139	6,495	8,162	5,368	1,286	1,106	1,845	1,282	1,566	1,029

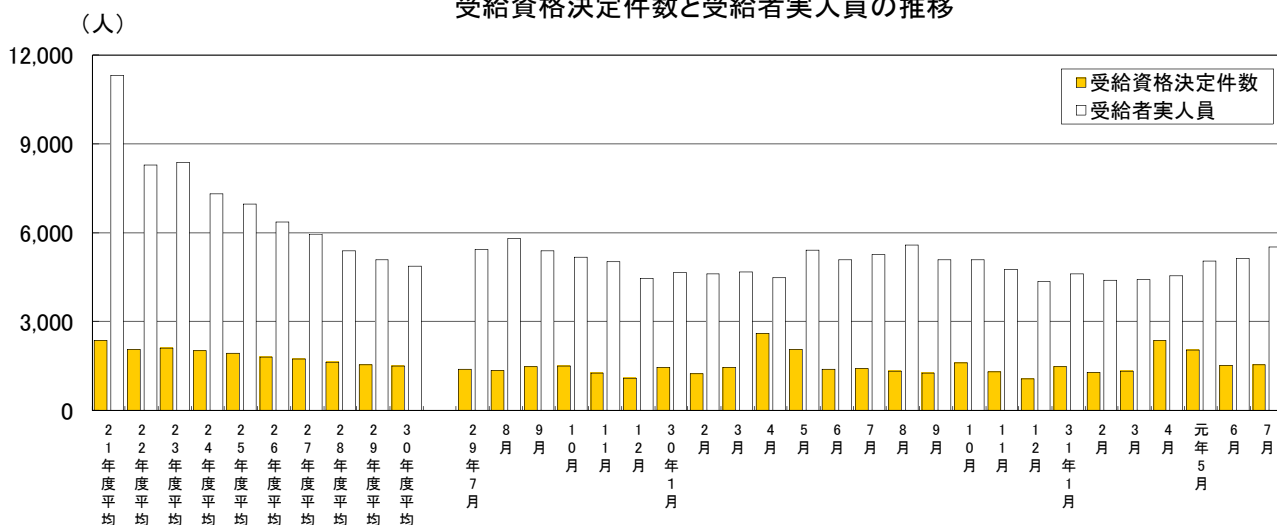
(単位:人)

V 雇用保険の状況

7月の受給者実人員(基本手当基本分)は、前年同月比4.7%(250人)増加、前月比では7.5%(386人)増加の5,522人となった。また、受給資格決定件数は、前年同月比9.1%(128件)増加、前月よりも0.3%(4件)増加し1,532件となった。

資格喪失者(高齢者、短期特例被保険者を除く)のうち事業主都合による者は、前年同月比9.0%(30人)増加、前月比47.4%(117人)増加し364人となった。

受給資格決定件数と受給者実人員の推移



事業主都合による資格喪失件数の産業別推移

